

# 山形県立 鶴岡病院だより

山形県立鶴岡病院 〒997-0369 鶴岡市高坂字堰下28 ☎ 0235-22-2690

## 小児精神科について

自閉症、広汎性発達障害、アスペルガー障害などをまとめて自閉症スペクトラム障害と呼びます。この障害を持つ人は、対人関係に困難を抱えることが多く、育て方や性格の問題と捉えられがちです。一見したところ全く普通に見える（普通より綺麗だったりもします）方が多いのですが、周囲の理解と援助の必要性が高いものであると考えられています。前回お話をした注意欠陥／多動性障害のように、動きが多いなど表面的に目立つ問題行動が少ない方が多いのですが、一方で、多動傾向を持ち積極的に一方的な不思議なコミュニケーションを仕掛けてくるタイプの子供達もいて、注意欠陥／多動性障害であると、専門家でも誤診してしまう場合があります。

この障害の理解のためには、多少勉強していただく必要がありますが、自閉症スペクトラム障害の子供達や、その成長した人たちとじっくりと関わったことのある方なら、すぐに障害的側面を認識できるのが普通です。それぞれの子供に重度からごく軽度といった程度の差はありますが、自閉症の特徴があるからです。人をコンピューターにたとえるのは、余り気がすすまないのですが、分かりやすさのために敢えてたとえれば、通常使われているウインドウズなどのOSではなく、かなり独自な自閉症的OSがインストールされているような状態なのです。自閉症スペクトラム障害の方は、本人には全く悪気はないのに、その場に応じて人を気遣うような言動をするのが困難なことが多く、逆に自分の関心のあることには強い集中や素晴らしい記憶力をを見せたりします。また感覚が過敏で、光や音、味など通常なんでもないようなものを、すごく嫌がったり怖がったりすることもよくあります。

最近の研究では、100から150人に一人より多い割合で診断できるレベルの方がいると考えられています。生涯を通じて様々なライフステージにおいて、困難なそしてとても豊かな様相を見せることが多いようです。また、最近この障害は知的障害と同じようにグレーゾーンが多い障害と捉えられるようになり、その方に応じた適切な支援により適応を大きく改善できると考えられています。

私事で恐縮ですが、最近ではこの障害に関して非常に多くの相談を受けるようになり、私の日常業務の主要な部分を占めるようになっています。その度に思うことは、この障害の本質を理解していただくことがとても重要であるということです。少なくとも、子供の教育・福祉・医療などにたずさわる方々には、ほとんど義務としてこの障害を学んでいただきたいと思うほどです。

❖❖❖❖❖ ホームページリニューアルしました ❖❖❖❖❖

**NEW! → 鶴岡病院ホームページアドレス <http://www.tsuruoka-hosp.jp>**

このたび鶴岡病院ホームページをリニューアルし、1月31日に公開しました。

現在、鶴岡病院では、新病院開院に向けて、建物の建築工事等を進めるとともに、院内外における各種研修・勉強会等を活発に行ってあります。

リニューアルしたホームページでは、工事の進捗状況や、院内外での活動について、最新の情報をあ知らせする予定です。今後も、地域の皆さんと一緒に、よりよい病院づくりを進めていきたいと考えてありますので、よろしくお願ひいたします。

副院長 神田 秀人



# 県立こころの医療センター(仮称)の整備について 連載第4回

今回は、新しい病院の建物の配置・特徴などについて紹介します。

新しい病院は、コンパクトに施設をまとめながら、敷地形状を生かし、南に大きく開いた病棟配置が特徴です。建物を中心として、敷地東側に一般外来駐車場(100台)や地域開放も予定しているミニグランドを、敷地西側に職員駐車場(150台)を配置します。

大まかな建物の構成は、南側は主に病棟のブロックで、北側は厨房などのサービスブロックとなります。

建物内の移動のため、南側病棟ブロックの中央に一般用、医療観察法病棟用、給食用のエレベーターを区別して機能的に配置しています。

また、救急外来から入院動線の最短化を図るため、救急診察室の直近にエレベーターを設け、2階スーパー救急病棟へ向かう最短のコースを確保するなど、効率性や安全性に配慮しています。

児童思春期の専用外来については、駐車場からの通路、入口、待合、診察室までを一般の外来患者と区別し、専用の動線やスペースとして確保しています。

最後に、建物の中央に設けた中庭は、エントランスホールや喫茶コーナーなどが面する回廊状の空間です。大きな窓からは自然光が入り、明るく賑わいのある空間となります。

## 現在の工事の様子



地盤改良工事の様子 (25.3.11撮影)  
液状化防止のため砂杭を打設。  
2月中旬から4台がフル稼働。  
砂杭3500本 打設予定。



砂杭重機 (25.3.11撮影)  
高さ 32m 重量 150t  
近くで見ると大きさに圧倒されます。

## 栄養管理係はもうすぐ1歳!

昨年4月に「栄養給食係」から、診療部所属の「栄養管理係」に変わりました。もうすぐ1年となります。

栄養管理は全ての医療の基本といわれています。適正な栄養状態を維持できるよう、あるいは改善できるよう管理栄養士が取り組んでいます。今年度は口腔ケアにも取り組みました。「歯を大切にする」ことは全身の健康管理につながります。何より普段の歯磨きが大事です。

また、調理師は「美味しい安全な食事」の提供に努めています。これまで、「味」「彩り」「盛付け」が良くなるよう研究を重ねてきました。来年度は「お楽しみ」を味わっていただけるようなメニューも出したいと検討しています。

ご期待ください!!



寒だら汁(白子も岩のりも入っているよ!!)